

第3回ウサギフォーラム

—医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開—

講演要旨集

2008年7月26日(土)

(神戸大学 医学部 神緑会館)

(「WHHL ウサギ研究会」共催)

プログラム

10:00- 参加登録の受付開始

10:20 開会の辞

10:25-10:50 世話人宿題講演: (座長: 森本正敏, 熊本保健科学大学)

脂質代謝, 動脈硬化に関するヒト, げっ歯類, ウサギの種差
塩見 雅志 (神戸大学医学部附属動物実験施設)

10:50-11:44 ワークショップ-1「ウサギを用いた新しい研究」
(W-1-1-W-1-3)

11:50-12:35 特別講演-1 (座長 範 江林, 山梨大学)

Second generation transgenic rabbits

Zs. Bösze (Agricultural, Biotechnology Center, Gödöllő, Hungary)

12:45-13:45 ランチオン・ポスターセッション (P-1-8)

13:50-15:02 ワークショップ-2「動脈硬化のイメージング, 血管形成術, 血栓」
(W-2-1-W-2-4)

15:15-16:00 コーヒーブレイク&ポスターセッション (P-9-12)

16:05-16:50 特別講演-2 (座長 塩見 雅志, 神戸大学)

動脈硬化の生体分子イメージング: WHHLMI ウサギを用いた基礎研究から
核医学画像診断、創薬研究への展開をめざして
佐治 英郎 (京都大学大学院薬学研究科)

16:55-18:43 ワークショップ-3「脂質代謝, 動脈硬化のメカニズム」
(W-3-1-W-3-6)

18:45-18:50 第3回国際ウサギフォーラム & 第4回ウサギフォーラムのご案内

18:50 閉会の辞

19:00-20:45 懇親会 (大学生協食堂)

ワークショップ-1 「ウサギを用いた新しい研究」(座長: 柴田 信光, 山梨大学)

W-1-1. 軟骨修復のための生体吸収材料の開発

○藤岡宏幸 名倉一成 国分毅 豊川成和 乾淳幸 坂田亮介 黒坂昌弘(神戸大学整形外科), 佐竹真 兼子博章(帝人(株)先端技術研究所)

W-1-2. 心筋細胞はどのようにして大きくなるか

○川村公一、吉田誠、高橋正人、小林実貴夫、吉成由紀、青木純江、増田弘毅、南條博、本間真紀子(秋田大学医学部病理病態医学講座器官病態学分野)、松田幸久(秋田大学バイオサイエンス教育研究センター動物実験部門)

W-1-3. 過活動膀胱(OAB)の発症メカニズム—WHHLMI ウサギを用いての検討—

○里地葉¹、吉田正貴¹、榊永浩一¹、前田喜寛¹、永田卓士¹、稲留彰人¹、塩見雅志²

熊本大学大学院医学薬学研究部泌尿器病態学分野¹

神戸大学医学部動物実験施設²

ワークショップ-2 「動脈硬化のイメージング, 血管形成術, 血栓」(座長: 川村公一, 秋田大学)

W-2-1. 超音波造影剤を用いた動脈硬化病変の質的診断の可能性

—WHHLMI ウサギを使用した基礎的検討—

○瀬古安由美¹、新田哲久¹、園田明永¹、宮川善浩¹、大田信一¹、藤宮峯子²、村田喜代史¹、塩見 雅志³

¹滋賀医大 放射線科

²滋賀医大 第一解剖学(現・札幌医大)

³神戸大学医学部 動物実験施設

W-2-2. ^{99m}Tc標識抗Membrane Type-1 Matrix Metalloproteinase (MT1-MMP)抗体を用いたMT1-MMPのインビボイメージング

○小川侑記¹⁾、久下裕司^{1,2)}、高井希望¹⁾、天満敬¹⁾、石野誠悟¹⁾、上端純子¹⁾、塩見雅志³⁾、佐治英郎¹⁾

¹⁾京都大学大学院・薬学研究科病態機能分析学分野

²⁾北海道大学大学院・医学研究科先端医学講座トレーサー情報分析学分野

³⁾神戸大学・医学部附属動物実験施設

W-2-3. 波長 5.75 μm の中赤外レーザーによる血管形成術の WHHLMI ウサギを用いた検討

○粟津 邦男, 石井 克典, 月元 秀樹, 間 久直

大阪大学大学院 工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 量子エネルギー工学講座

W-2-4. 血栓性血管収縮における肥厚内膜の関与: 平滑筋細胞に富む内膜肥厚巣は

5-HT_{2A} 受容体を介して収縮する

○山下 篤¹、西平賢作²、田中直子³、今村卓郎²、山本隆一³、北村和雄²、浅田祐士郎¹

¹ 宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学

² 同内科学講座循環体液制御学

³ 九州保健福祉大学薬学部薬理学第一講座

ワークショップ-3「脂質代謝，動脈硬化のメカニズム」（座長：石田達郎，塩見雅志，神戸大学）

W-3-1. マウスマクロファージ細胞における超低密度リポ蛋白(VLDL)受容体発現の欠如—ヒトおよびウサギ動脈硬化巣との相違—

○高橋貞夫¹、伊藤 隆²、銭丸康夫¹、今川美智子¹、鈴木仁弥¹、宮森 勇¹、佐々木直人³、石田達郎³、平田健一³、塩見雅志²

¹福井大学医学部 病態制御医学 内科学(3)

²神戸大学医学部附属動物実験施設

³神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野

W-3-2. 非糖尿病性動脈硬化病変における RAGE (Receptor for advanced glycation end products) の役割

○上北洋徳^a、石橋敏幸^a、杉本浩一^a、坂本信雄^a、大河原浩^a、上岡正志^a、竹石恭知^a、塩見雅志^b、山岸昌一^c、丸山幸夫^d

^a福島県立医科大学第一内科、^b神戸大学実験動物施設、^c久留米大学内科、

^d星総合病院

W-3-3. Unprocessed RhoA・Rac1 の活性化メカニズムと動脈硬化進展における役割

○大河原 浩¹、石橋 敏幸¹、塩見 雅志²、上北 洋徳¹、杉本 浩一¹、 多久和 陽³、竹石 恭知¹

1) 福島県立医科大学 内科学第一講座

2) 神戸大学医学部附属動物実験施設

3) 金沢大学大学院医学系研究科循環医科学専攻

W-3-4. 細胞外基質分解酵素 MMP-12 は、初期動脈硬化巣の形成から進展に重要な促進因子である

○山田 壮亮¹⁾、王 克鏞¹⁾、谷本 昭英¹⁾、範 江林²⁾、島尻 正平¹⁾、北嶋 修司³⁾、森本 正敏⁴⁾、渡邊 照男⁵⁾、笹栗 靖之¹⁾

1)産業医科大学第2病理学教室

2)山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学講座

3)佐賀大学総合分析実験センター

4)熊本保健科学大学リハビリテーション学科

5)福岡和白病院病理検査科

W-3-5. 合成高比重リポ蛋白(HDL)のワタナベ遺伝性高脂血症ウサギにおける大動脈プラーク進展抑制効果 - 血管内超音波(IVUS)による検討 -

○岩田敦、今泉聡、張波、三浦伸一郎、朔啓二郎
福岡大学医学部 心臓・血管内科学講座

W-3-6. 家兎における血管内皮リパーゼの過剰発現が血清脂質に及ぼす影響

○石田達郎、安田知行、平田健一
神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学分野

ポスターセッション-1「ES細胞，遺伝子組換えウサギ」（座長 北嶋修司，佐賀大学）

P-1. *lox P* 配列導入ウサギの作製

○松田純一
(財)化血研 試作研究部

P-2. ウサギES細胞の効率的な樹立とその維持

○本多 新¹⁾、廣瀬 美智子¹⁾、井上 貴美子¹⁾、越後貫 成美¹⁾、三木 洋美¹⁾、下澤 律浩²⁾、羽鳥 真功²⁾、清水 なつみ¹⁾、村田 武英¹⁾、広瀬 めぐみ¹⁾、形山 和史³⁾、脇阪 紀子¹⁾、三好 浩之¹⁾、横山 和尚¹⁾、山海 直²⁾、小倉 淳郎^{1, 4)}
理研BRC¹⁾、医薬基盤研・霊長類センター²⁾、東京都臨床医学総合研究所³⁾、東大院医⁴⁾

P-3. ウサギの内皮リパーゼの同定及び組織発現についての検討

○Ying Yu, Jifeng Zhang, 小池智也、範江林(山梨大学大学院医学工学総合研究・分子病理学講座)

石田達郎、平田健一(神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学分野)

P-4. Association Between C-Reactive Protein and Ischemic Stroke in rabbit model

Yan Lin¹, Chunfang Zhang¹, Qi Yu¹, Peigang Yang¹, Sihai Zhao¹, Penghui Yang¹, Jianglin Fan², Enqi Liu¹

¹ Laboratory Animal Center, Xi'an Jiaotong University School of Medicine, Xi'an, 710061, China

² Department of Molecular Pathology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi, 409-3898, Japan

ポスターセッション-2「ウサギを用いた新しい研究」（座長 西島和俊，佐賀大学）

P-5. 麻酔下ウサギを用いた Oddi 括約筋収縮測定法におけるモルヒネおよびペンタゾシンの作用

○小林 良輔、中尾 薫、山田毅史、望月 英典
東レ株式会社・医薬研究所

P-6. 秋田大型ウサギの血液生化学的値について

○松田幸久¹⁾、石郷岡清基¹⁾、池田勝也¹⁾、川村公一²⁾

1) 秋田大学バイオサイエンス教育研究センター動物実験部門

2) 秋田大学医学部病理病態医学講座器官病態学分野

P-7. Asialoerythropoietin 動注による腸管粘膜障害軽減の試み:ウサギ再還流モデルを用いて

○新田哲久¹ 園田明永¹ 瀬古亜由美¹ 宮川善浩¹ 竹村しづき² 横幕由喜代³ 杉本俊郎³ 柏木厚典³

1 滋賀医科大学放射線医学講座

2 滋賀医科大学病理学講座

3 滋賀医科大学腎臓代謝内分泌内科学講座

P-8. 正常ウサギにおける大動脈局所脈波速度の加齢に伴う変化

○勝田新一郎、三宅将生、小林大輔、挾間章博

福島県立医科大学医学部細胞統合生理学講座

ポスターセッション-3「動脈硬化, 脂質代謝等」(座長小池智也, 山梨大学)

P-9. CAS治療研究のための不安定プラーク動物モデルの検討

○中井完治¹⁾、清水崇²⁾、荻野郁子²⁾、石原美弥³⁾、守本祐司⁴⁾、新井一²⁾、菊地眞³⁾

1) 旗の台脳神経外科病院脳神経外科

2) 順天堂大学医学部脳神経外科

3) 防衛医科大学校医用工学

4) 防衛医科大学校分子生体制御学

P-10. 新しいメタボリックシンドロームのモデル動物としての WHHLMI ウサギ

○平山信恵, 山田悟士, 伊藤隆, 塩見雅志

神戸大学医学部附属動物実験施設

P-11. 高脂血症うさぎの頸動脈におけるバルーン拡張後組織所見

○横内哲也, 岩渕 聡¹⁾, 鮫島寛次¹⁾, 高橋 啓²⁾, 有嶋和義³⁾, 塩見雅志⁴⁾

横浜総合病院 脳神経外科, 東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科¹⁾,

同 病院病理部²⁾, 麻布大学 獣医学部³⁾, 神戸大学 動物実験施設⁴⁾

P-12. Characterization of plasma lipoprotein abnormality in WHHLMI rabbits using capillary isotachopheresis in combination with quantitative ultracentrifugation

○Bo Zhang, Masashi Shiomi *, Keijiro Saku

Department of Cardiology, Fukuoka University

Institute for Experimental Animals*, Kobe University School of Medicine,

Japan